新見公立大学開学40周年記念式典
式辞

公立大学法人新見公立大学は、全国初の広域事務組合立として 1980 年に設立されました新見女子短期大学に始まり、本年 2020 年に開学 40 周年を迎えました。本日は、新型コロナウイルス感染対策にご配慮をいただきながら、また、台風 14 号で交通事情に影響がでるなか、この 40 周年記念式典に、文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐・公立大学専門官　加藤善一様、公立大学協会会長　鬼頭　宏様、新見市長　池田一二三様、ならびに内閣官房長官・衆議院議員　加藤勝信様令夫人　加藤周子様、参議院議員　石井正弘様、谷合正明様、小野田きみ様をはじめ、多数の皆様にご参加いただきましたことに心より御礼を申し上げます。式典を開催するにあたり、大学を代表してご挨拶を申し上げます。

まず、40 年前に幾多の困難を乗り越えてこの地に公立短期大学を創設されました赤木孜一・旧新見市第3代市長の先見性と行動力に敬服するとともに感謝を申し上げます。また、建学の精神である「誠実・夢・人間愛」のもとに、開学当初より、この中山間地域に入学生を広域的に募り、質の高い専門教育を構築、実践されてきた歴代の学長、ならびに教職員の高い専門性と情熱に敬意を表します。短期大学時代における血の通う指導と不断の教育改革の実績は、2004 年～2008 年に文部科学省が、他大学の模範となる教育の実践と改革の取り組みとして選定し、財政的にも支援した Good Practice 事業に 7 件採択されたことに結実しています。

つづく、四年制大学に向けての改革は、石垣正夫前市長のもと、難波正義前学長のリーダシップにより、2008 年の法人化とともに加速しました。開学 30 年となる 2010 年、新見公立大学の開学、看護学部看護学科の設立、2014 年大学院の開学、2015 年助産学専攻科の開設、それにともない、施設面では 2008 年学術交流センターと図書館、2013 年本館と体育館が、それぞれ近代的に改築されました。2016 年第 7 代学長に就任しました私、公文は、この改革の流れに沿って、2017 年に看護学部を健康科学部に名称変更し、短期大学の幼児教育学科と地域福祉学科を 4 年制化して、1 学部 3 学科体制とする構想で計画を進めました。途中、石垣市長の不慮の事故死という不幸な出来事に遭遇しましたが、池田現市長の賛同のもとに計画を進め、2019 年 4 月、本学は「人と地域を創る新見公立大学　新・健康科学部」に生まれ変わりました。そして、開学 40 年となる本年 9 月、定員 735 人の 4 年制大学に相応しい新棟・地域共生推進センター棟が完成、本日午前 9 時よりの竣工式に引き続きまして、本記念式典の開催となりました。

さて、新型コロナウイル感染症の拡大により、足踏みするとともに見直しが必要となっていますが、変化の激しい、予測不可能な社会の到来に向けて、日本の大学の目指すべき姿に、多様性と柔軟性をキーワードとする変化と個性化が求められています。新見公立大学は、少子・高齢化と人口減少に係わる諸々の課題に直面する人口 3 万人弱の中山間地域の街・新見市にあり、そのことを地の利として、課題先進地の現場で保育、看護、介護、福祉の高度専門職人材を育成する未来志向型の学修体系の確立を目指していきます。目標は、中山間地域の持続可能なまちづくりとしての地域共生社会の構築における各学科の役割と多職種連携を実践的に研究、教育することであり、より具体的には、新棟の建設にともなって構築した先進的 ICT 学修環境により、新見市全域を学びのキャンパスとする「キャンパスは新見構想」の推進、「独自の進化を続けていますシミュレーション教育」を活用した新しい学内演習と実習システムの構築、With コロナ時代における「対面・遠隔ハイブリッド授業の新しい展開としてのオンデマンド学修の活用」など特色のある学修体系を深化させて参ります。

改めて、本学 40 年の歩みを振り返るとき、発展の基盤は、時代を先取りする教育改革とともに、建学の精神「誠実、夢、人間愛」に基づく「人間力の向上」に努めてきたことにあります。再度、「教員と学生との距離が近い、血の通う教育の実践」という小規模大学の原点に帰って、次の 10 年への歩みを進めていきたいと思っています。

皆様方の変わらぬご厚情とご支援をお願いして、私の式辞とさせていただきます。

令和 2 年 10 月 11 日

公立大学法人新見公立大学　理事長、学長　公文　裕巳